

10bit非圧縮のクオリティと安定性を賞賛 Adobeの信頼性が決め手の要素



細川一毅氏(左)、藤本光伯氏(右)



ゲーム「龍が如く」©SEGA Corporation, 2005

使用製品

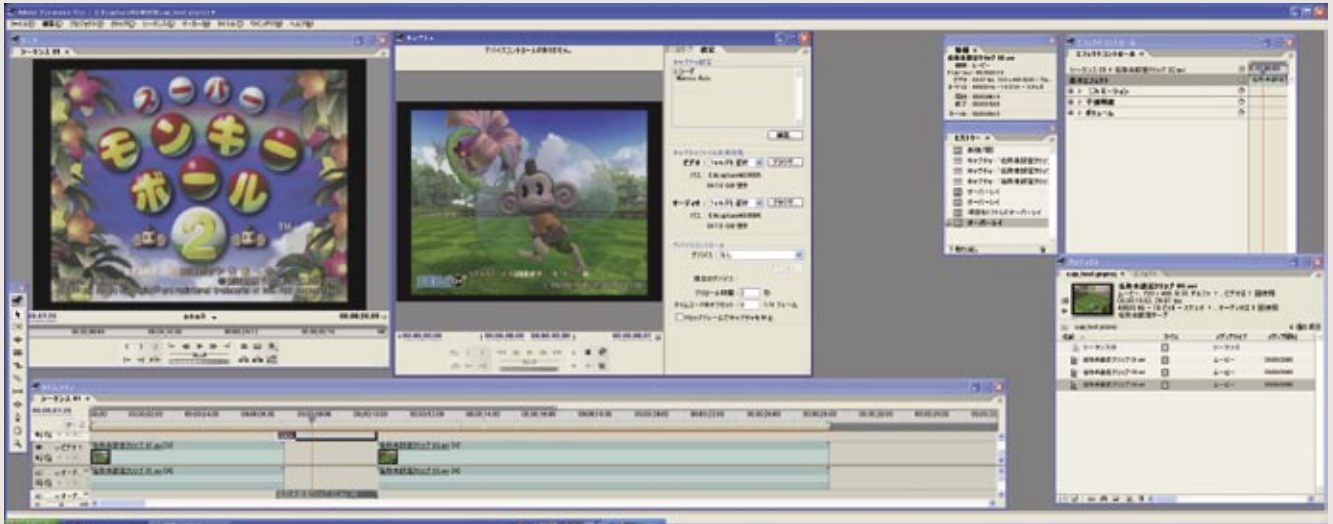
・ Adobe Production Studio Premium

Adobe OpenHD 認定ソリューションの1つである編集システム Matrox Axio HD は、HD 化が図られているゲーム業界での導入が進んでいる。導入後、処理能力、クオリティ、安定性など全要素からの満足度が非常に高い。Adobe の Adobe® Production Studio Premium もゲーム業界に浸透しつつある。

高品質ゲーム映像にも活用

アーケードゲーム機や家庭用ゲームソフトを開発しているセガ (www.sega.co.jp) の NE 開発本部 NE ソフト研究開発部では、幅広い年代層をターゲットとした多彩なゲームの開発を主に行っている。最近の作品では、プレイステーション 2 に向けたアクションアドベンチャーゲーム「龍が如く」(2005 年 12 月発売)、元はアーケードゲームより発展したシリーズでニンテンドー DS に向けた「スーパーモンキーボール DS」(2005 年 12 月発売) などを手掛けた。

NE ソフト研究開発部では、昨年末に Matrox 社 (加) の編集システム「Matrox Axio HD」を導入した。Matrox Axio は、HD/SD 対応、10bit 非圧縮 / 圧縮に対応した入出力カードを搭載した汎用性の高いシステムで、Adobe OpenHD 認定ソリューションの1つ。2 ストリームの HD 10bit 非圧縮 + 2 レイヤーの静止画をエフェクト付きでリアルタイムに処理する能力を持ち、Adobe の新製品 Production Studio Premium (After Effects 7.0 Pro、Premiere Pro 2.0、Encore DVD 2.0、Audition 2.0、Photoshop CS2、Illustrator CS2) で



ゲーム「スーパーモンキーボール DS」編集画面 ©SEGA

構成されている。(NE ソフト研究開発部の導入時は、After Effects 6.5 Pro や Premiere Pro 1.5 など構成された Video Collection 2.5 を搭載していた)。

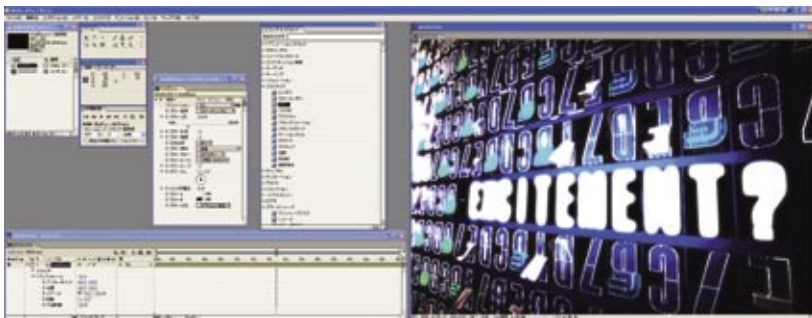
NE ソフト研究開発部の編集システムを導入した目的は、社内プレゼン用ムービーやゲームショーの映像、及び CM 用ムービーやウェブ用ムービー制作に活用するためだ。また最近では、映像を見せる部分の比率が高いゲームが増えているためとも言える。以前は社外へも依頼していた映像制作を社内で行うようになったのは、何か突発的な変更などが発生しても、制作途中のもの軌道修正がすぐに行えるためであると話す。

ハイクオリティ、コストパフォーマンス性の優れた HD 環境の形成

HD システムを選んだ理由は「Microsoft Xbox 360 も HD 対応、またプレイステーション 3 も HD 対応が決まっており、2 年ほど前から HD 環境を整える必要があると感じていました」と、NE ソフト研究開発部 テクニカルリサーチ マネージャーの藤本光伯 (ふじもと・みつり) 氏は話している。NE ソフト研究開発

部では、Matrox Axio HD を導入する前は、Adobe Premiere とカノープスの DV カードの組み合わせを利用していた。導入の際、検討していたシステムは 2 ~ 3 機種ほどあり、Matrox Axio HD の検証に 3 ~ 4 週間費やした後、コストパフォーマンス性、そして Adobe® Premiere® Pro と Adobe® After Effects® が使えることが決め手となり、Matrox Axio HD を選択した。「ゲーム開発会社の当社では映像編集がメインでないことも事実です。クオリティを保ちながら納得のいく価格であるものを選びました」と藤本氏は話している。

実際に編集システムを操作している NE ソフト研究開発部 デザインセクションのマネージャーである細川一毅 (ほそかわ・かずき) 氏は「Matrox Axio HD は、10bit 非圧縮に対応とクオリティも高く、安定性にも優れています。ロスレスのリアルタイム処理も可能で、HD を DV のように扱えるパワーの強さを感じています」と言う。細川氏は、Autodesk 3ds max や SoftImage XSI などによる 3D 制作からコンポジット、編集まで一連のワークフローを担当している。また自社のホームページのゲーム紹介部分では、Flash も利用している、



©SEGA

ハイデフ次世代ゲーム体制を強化

長年 Premiere を使用している細川氏は「Premiere は Premiere Pro となってから、かなり能力が向上したと思います。まず、リアルタイムの応答性は格段によくなっています。それに、エフェクトやトランジションの品質が Pro になってよくなりました。60 フレームや HD の高解像度に対応してくれたのは、弊社のように CG ツールで制作したムービーを編集する場合には嬉しいことです。ソースとなる素材を自社内で管理し、ハイデフの次世代ゲームにも対応できるよう備えておくことが必須である中、この Premiere Pro の進化は有益です」と話す。NE ソフト研究開発部内でソース制作から手掛ける場合、HD-D5(1080p) で制作しておき、PS2 や Xbox 360 等の最終的なフレームレートや解像度にダウンコンバートしている。「Matrox Axio HD の持つ独自のエフェクトもリアルタイムで処理されるので生産性が向上します。面白そうなトランジションも揃っているのでどんどん活用していくつもりです」(細川氏)。セガのフライングロゴムービーなどは 30 ほどのレイヤーで構成され、トランジションやエフェクト類も多用されている。

信頼性の高さを誇る Adobe OpenHD

「HD 編集システムを選択する際、当社の場合、OS に Windows かあるいは Macintosh か、などへのこだわりは特にありませんでした。むしろ、Matrox Axio HD の表の部分にあたるソフトウェアを開発している Adobe とそのアドビが推進している OpenHD への信頼性や将来性が大きな決め手の要素となりました。今後の Adobe にはさらに多大な期待をしています」と藤本氏は話している。

お問い合わせ先

アドビ製品は、お近くのアドビ認定ディーラー (AAD: Adobe Advanced Dealer) でお買い求めください。AAD リストをはじめとする最新情報は、アドビシステムズホームページ (www.adobe.co.jp) で入手して下さい。製品の購入に関する詳細はカスタマーインフォメーションセンター (tel.03-5350-0470) へお問い合わせください。

アドビシステムズ株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー・www.adobe.co.jp
Adobe Systems Incorporated 345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA・www.adobe.com

アドビカスタマーインフォメーションセンター (製品に関するお問い合わせ) 03-5350-0407
アドビストア (注文専用) フリーダイヤル 0120-60-3884 または 0120-61-3884

受付時間 9:30~17:30 土、日、祝日および弊社指定休日を除く

※アドビストアはアドビのオンラインストアです。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Premiere Pro および After Effects は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

© 2006 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.

